

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	1	教育総務費	3	教育振興費	210106	上美生地区山村留学推進事業

事務事業名 上美生地区山村留学推進事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・道外からの児童生徒を受け入れることによって、教育環境の整備や複式学級の解消を目指す。 ・上美生地区山村留学推進協議会に対する補助及び指導員の配置 ・児童生徒募集業務、交流事業の開催
2. 対象(何を対象にしているか) 上美生小・中学校
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 複式学級の解消 教育効果の向上

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成7年11月の上美生地区山村留学推進協議会設立を契機として、上美生地区における小学校及び中学校の複式学級の解消を目的に、平成9年度から児童生徒を受け入れている。 ・道外からの児童生徒を受け入れることによって、教育環境の整備や複式学級の解消を目指す。 ・上美生地区山村留学推進協議会に対する補助及び指導員の配置 ・児童生徒募集業務、交流事業の開催 平成28年度から臨時調理員の管理等事務を農林課から学校教育課へ移行。 全国的に山村留学を中止、休止する地域が増えている。 留学生受け入れ数は減少しており、地域の関わりの仕組みづくりが必要となっている。情報を広く公開し、地域住民の理解と山村留学への認識を高めしていく必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 山村留学事業推進のため、必要な支援を図る。 山村留学用住宅の適切な管理を行う。 ふるさと交流センターでの山村留学生に係る運営方法の検討。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	180,000	554,251	580,000
		一般財源	円	3,459,056	3,648,006	4,835,000
		事業費計(A)	円	3,639,056	4,202,257	5,415,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.0379		
人件費計(B)		円	300,828			
トータルコスト(A+B)		円	3,939,884	4,202,257		
活動指標	指導員数	人	1	1		
	留学生数	人	6	6		
	交流事業数	件	2	2		

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
山村親子留学用住宅貸付収入	円	180,000	360,000	360,000
臨時労働保険個人負担金(教育振興費)	円		194,251	220,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 山村留学推進事業に要した経費

山村留学の状況

・センター留学	小学生 1名
	中学生 3名
・親子留学	小学生 1名
	中学生 1名

上美生地区山村留学推進協議会補助金 1,151,967円

・事業部

- (1)川下り:本年度コロナウイルス感染症防止のため、中止となりました。
- (2)乗馬体験:本年度コロナウイルス感染症防止のため、中止となりました。
- (3)町内探検:本年度コロナウイルス感染症防止のため、中止となりました。
- (4)ホームステイ
受入家庭 1戸
参加人員 7名(センター留学生6名)
- (5)スキー教室:令和4年1月15日
実施場所 メムロススキー場
参加人員 小・中学生、役員・保護者 計32名

・募集部

- (1)ホームページ(ブログ等)やSNSの運営による情報発信
- (2)ホームページリニューアル
- (3)山村留学募集ポスターの作成、掲示
- (4)役員研修・視察・山村留学アピール

・事務局

- | | |
|--------------|-----|
| (1)月例役員会 | 11回 |
| (2)役員会 | 2回 |
| (3)体験入学生との面談 | 2回 |
| (4)選考委員会 | 0回 |
| (5)関係機関訪問 | 1回 |

・問い合わせ等状況 延べ17件

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	1	3	210205	児童生徒支援事業

事務事業名	児童生徒支援事業
-------	----------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ①児童生徒・教職員・保護者へのカウンセリング、助言・提言、情報収集・提供及び不登校児童生徒に対する支援を行う。 ②個別の支援が必要な児童生徒に学校生活での支援を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) ①児童生徒、教職員、保護者 ②個別の支援が必要な対象児童
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ①児童生徒の問題行動等の未然防止を図る ②個別な支援が必要な児童一人ひとりが、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善しながら自立を図っていく

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・特別な配慮を必要とする児童生徒のため、教育活動指導助手及び支援員を配置する。 ・小学校免許を持つ臨時教諭を配置し、小学校全学年35人以下学級編制を町費で実施。 ・学校生活に関する相談窓口として、スクールライフアドバイザーを配置。 ・不登校児童生徒への支援のため、教育支援センターを開設。令和4年度からは、民間へ業務委託。 ・発達支援システムと教育とのスムーズな接続と、特別支援教育の相談対応のため、地域コーディネーターを配置。 【課題】 ・全国学力・学習状況調査においては、町内小・中学校ともに全国平均を下回っており、学力向上が課題となっている。 ・全町的に不登校児童生徒の数が増加しており、不登校や問題行動の早期発見・早期対応が求められる。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・カンファレンス等の結果を踏まえ、児童生徒に対する必要な支援体制を確保する。 【解決策】 町費により臨時教諭(任期付)を配置することで、小・中学校全学年において、30人以下学級編制を実施する。(令和5年度:小学校2学級、中学校2学級に配置、令和5年度は中3は対象外) ・個々の発言・表現や協働的な学びの場等の機会を増加させることにより、教育の質の向上を図り、全国学力・学習状況調査において、全国平均以上を目指す。 ・個々の学習状況等をより把握しやすくなることにより、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を通して、不登校や問題行動の早期発見・早期対応を行うことにより、不登校児童生徒数の増加傾向の抑制及びQ-U等のアセスメント向上を目指す。 ・小・中学校で学級編制基準を揃えることにより、中学校入学時の円滑な移行と「中1ギャップ」の解消を図る。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	438,409	1,000,000	1,450,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	3,193,241	4,174,126	3,147,000
		一般財源	円	28,441,161	28,323,670	32,207,000
		事業費計(A)	円	32,072,811	33,497,796	36,804,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2944	0.3003	
人件費計(B)		円	2,337,146	2,339,360		
		トータルコスト(A+B)	円	34,409,957	35,837,156	
活動指標	スクールライフアドバイザー・教育支援センター指導員人数	人	2	2	1	
	教育活動指導助手・支援員人数	人	19	17	18	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
教育支援体制整備事業国庫補助金	円	303,000	1,000,000	1,450,000
幼少接続円滑化モデル事業道委託金	円	135,409		
会計年度任用職員労働保険個人負担金(教育振興費)	円	3,193,241	3,164,126	3,147,000
寄附金管理基金繰入金	円		1,010,000	
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

児童・生徒の支援のため、以下のとおり専門の職員を配置した。

職種	区分	内容
1 スクールライフアドバイザー	会計年度任用職員	児童生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言・提言、情報収集・提供を行う。
2 教育支援センター指導員	会計年度任用職員	教育支援センター「ゆうゆう」にて、登校に支援が必要な児童生徒の指導を行う。
3 臨時教諭	任期付職員	小学校免許を持つ臨時教諭を配置し、小学校全学年35人以下学級編制を町費で実施。
3 教育活動指導助手	会計年度任用職員	普通学級にて、困り感のある児童生徒への指導の補助を行う。
4 学校支援員	会計年度任用職員	特別支援学級在籍で個別の支援が必要な児童生徒への支援を行う。

1 スクールライフアドバイザー活動状況

(1) 学校別相談件数

	芽室小学校	上美生小学校	芽室西小学校	芽室南小学校	芽室中学校	上美生中学校	芽室西中学校	合計
児童生徒	29		4		138	10	2	183
教職員	51	1	27	1	182	67	52	381
保護者	31	1	28	1	79	21	4	165
計	111	2	59	2	399	98	58	729

※その他212件(卒業生及び卒業生保護者98件、関係機関等114件)

※参考 令和3年5月1日現在児童生徒数及び教職員数

	芽室小学校	上美生小学校	芽室西小学校	芽室南小学校	芽室中学校	上美生中学校	芽室西中学校	合計
児童生徒	619	35	308	84	445	20	161	1,672
教職員	45	12	30	17	37	14	18	173

(2) 相談内容別件数(重複あり)

相談項目別	件数
いじめ	17
不登校	374
友人関係	26
教員との関係	14
学業・進路	656
発達相談	122
家庭環境(虐待含む)	128
自身の問題(身体・性格・行動)	46
その他	227
合計	1,610

2 教育支援センター指導員の活動状況

指導員を1名配置し、月～金曜日の9時から14時30分までの間、教育支援センターにて児童生徒への指導を行った。

※令和3年度末の在籍児童生徒数14名(小:1名 中:13名)

3 臨時教諭の活動状況

芽室小学校に1名を配置した。

4 教育活動指導助手の活動状況

芽室小学校に3名、芽室西小学校に2名、芽室中学校に3名、芽室西中学校に1名の合計9名を配置した。

5 支援員の活動状況

芽室小学校に6名、芽室西小学校に1名、芽室中学校に1名の合計8名を配置した。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	1	教育総務費	3	教育振興費	210206	大学等就学支援事業

事務事業名 大学等就学支援事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ①私立高等学校生徒の授業料補助申請の受付・審査・交付 ②大学等奨学金申請の受付・審査・貸付
2. 対象(何を対象にしているか) 経済的理由により支援を必要とする私立高等学校に在学させている世帯の保護者及び大学等の就学者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 義務教育終了後の就学機会の確保及び経済的負担の軽減を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・奨学金貸付については、平成29年度末から新入学生に対し、入学前貸付を開始。また、平成30年度から貸付申請を通年で受け付けることにより、随時貸付可能とした。 ・社会的経済状況から、奨学金の返済が滞って滞納繰り越しになったり、連帯保証人を通じ、返済するケースが出てきた。 ・私立高等学校生徒授業料補助生徒は令和2年度より国の就学支援金の改正により補助対象者で管内の全日制私立高等学校に通う生徒の授業料は無料となったため、管外の私立高等学校に通う生徒の保護者及び通信制の私立高等学校に通う生徒の保護者のみが対象者となった。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・奨学金貸付制度については、奨学生及び連帯保証人に債務を負う責任を十分理解し、適切に利用してもらえるように進めていく。 ・奨学金償還免除制度については、効果的に奨学生に印象付けられるよう周知に努める。 ・私立高等学校生徒授業料補助制度については、国及び北海道の同様の補助制度に連動するよう状況に合わせて実施を続ける。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	15,515,000	16,735,000	13,780,000
		一般財源	円	5,265,000	11,189,000	6,960,000
	事業費計(A)	円	20,780,000	27,924,000	20,740,000	
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1206	0.1205	
人件費計(B)		円	957,547	938,684		
トータルコスト(A+B)		円	21,737,547	28,862,684		
活動指標	私立高等学校授業料補助申請件数	件	15	18	18	
	大学等奨学金貸付申請件数	件	32	44	44	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細部名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
大学等奨学金貸付金元金収入	円	15,515,000	16,735,000	13,780,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 私立高等学校生徒授業料補助 324,000 円

○ 認定者 月額 3,000円以内 15人

※ うち補助金支給対象者(自己負担0円の場合は支給無し) 6人

	町内生徒数	申請者数	認定者数	不認定者数
帯広大谷高等学校	54	2	2	
帯広北高等学校	20			
白樺学園高等学校	32	1		1
池上学院帯広キャンパス	9	4	4	
星槎国際高等学校	21	8	7	1
その他(十勝管外・単位制)	16	3	2	1
合 計	152	18	15	3

2 大学等奨学金の貸付 42 人 27,600,000 円

○ 令和3年度 通常貸付分

貸付者 29 人

・入学金 300,000 円 × 9 人 = 2,700,000 円

・修学金 500,000 円 × 29 人 = 14,500,000 円

合計貸付金額 17,200,000 円

○ 令和3年度入学前貸付分(令和4年度新入学生分)

貸付者 13 人

・入学金 300,000 円 × 13 人 = 3,900,000 円

・修学金 500,000 円 × 13 人 = 6,500,000 円

合計貸付金額 10,400,000 円

		1年		2年		3年		4年		計	
		通常	年度前	通常	通常	通常	通常	通常	通常	年度前	
大学院	国公立										
	私立										
大 学	国公立	3	1	3	3			9	1		
	私立	3	5	3	3	1		10	5		
短期大学	国公立										
	私立	1	4	1				2	4		
専門学校	国公立			1				1			
	私立	3	3	2	2			7	3		
その他	国公立										
	私立										
計	国公立	3	1	4	3			10	1		
	私立	7	12	6	5	1		19	12		

○ 令和3年度末奨学金償還状況

内 容	実 績	備 考
令和3年度償還人数	124人	うち滞納繰越者2名
令和3年度償還予定額	16,895,000円	うち繰上償還額 2,870千円
令和3年度償還滞納繰越額	390,000円	H28:70千円、H29:80千円、H30:80千円、R1:80千円、R2:80千円
令和3年度償還額(現年分)	16,735,000円	うち繰上償還額 2,870千円
令和3年度償還免除額	125,000円	償還免除者3名
償還未済人数	194人	
償還未済額	151,650,000円	

R2末貸付残高 + R3貸付金 + (R3償還金+繰上償還金+免除額) = R3末貸付残高
 140,910 + 27,600 + (△13,865+△2,870+△125) = 151,650 (千円)
 ※令和3年度中増減高…10,740(千円) 【H28・29・30・R1・R2・R3滞納繰越550千円含む】

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	1 教育総務費	5 給食センター管理費	210301	学校給食センター施設維持管理事業

事務事業名	学校給食センター施設維持管理事業
-------	------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 学校給食業務を円滑・効果的に実施するための施設設備について、適切な維持管理を行う事業。
2. 対象(何を対象にしているか) 学校給食センター施設、機械設備。
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 学校給食業務がスムーズに行えるよう、日常の保守点検を怠りなく実施し、学校給食センターの施設や機械設備のトラブルに迅速に対応する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 現在の学校給食センターは建設後20年を経過しており、設備・調理機器の計画的な改修・更新を実施していることから、修繕件数はここ数年、減少傾向にある。今後も安全安心な学校給食を提供するため、2015年度に策定した「給食センター施設整備・備品等購入年次計画」に基づき設備・機器の改修・更新・修繕を実施していく。 近年、男性職員の応募や任用が増えているが、更衣室やトイレ等、施設の構造上の理由により、複数の男性職員を任用することが難しく、また、できる業務も限られてしまう状況である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 現在の学校給食センターは建設してから20年が経過しているが、今後も20年程度は現施設を使用することが想定されるため、長期的な施設整備・備品等の購入・改修について、計画を見直しながら実施していく。 緊急修繕については従来どおり給食提供に支障がでないよう対応していく。 学校給食法で規定する「学校給食衛生管理基準」に基づき、衛生管理の徹底と強化を図りながら施設維持管理を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	22,167,519	14,592,371	8,422,000
		一般財源	円	47,676,526	37,656,823	48,508,000
		事業費計(A)	円	69,844,045	52,249,194	56,930,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.5089	0.4661	
人件費計(B)		円	4,039,353	3,630,810		
		トータルコスト(A+B)	円	73,883,398	55,880,004	
活動指標	施設維持管理費用		円	69,844,045	52,249,194	56,930,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
学校給食試食代	円	1,763	2,665	57,000
給食センター職員給食代	円	127,756	125,706	150,000
寄附金管理基金繰入金	円	22,038,000	14,464,000	8,215,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 光熱水費の推移(過去5年間)

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
重油	使用量(ℓ)	107,600	89,800	87,400	95,700	88,100
	金額	9,048,672	9,179,244	8,862,116	8,452,180	9,738,740
ガス	使用量(m ³)	1,894	1,784	1,773	1,593	1,775
	金額	1,456,488	1,373,555	1,375,236	1,383,437	1,391,984
電気料	使用量(kW)	434,386	404,220	398,613	394,043	431,409
	金額	10,479,626	10,871,429	10,231,328	9,360,959	10,849,018
水道料	使用量(m ³)	9,941	10,532	10,523	8,954	8,345
	金額	4,437,905	4,699,600	4,724,678	4,074,952	3,800,293

2 施設管理委託料の内訳

①特別清掃委託	1回/年	941,600 円	(株)かんきょう
②機械警備委託	年間	183,480 円	セコム(株)
③施設管理委託	年間	3,177,900 円	(株)かんきょう
④消防設備点検委託	2回/年	49,170 円	(株)ヤマト商会
⑤電気工作物保安管理委託	6回/年	336,600 円	(財)北海道電気保安協会
⑥ばいじん量測定委託	2回/年	85,800 円	カンエイ実業(株)帯広営業所
⑦機械設備保守点検委託	年間	1,430,000 円	(株)日本サーモエナー旭川営業所
⑧調理機具保守点検委託	2回/年	160,600 円	日本調理機(株)北海道支店
⑨事業系廃棄物収集運搬委託	年間	269,883 円	(株)かんきょう
⑩残渣処理配管清掃委託	1回/年	33,000 円	クリーン開発(株)
⑪貯水槽清掃委託	1回/年	38,500 円	クリーン開発(株)
⑫害虫生息調査委託	2回/年	66,000 円	(株)かんきょう
⑬廃水処理施設清掃委託	1回/年	742,500 円	(株)宮間工業
合 計		7,515,033 円	

3 建設工事等

①基礎防水改修工事	1,980,000 円	宮坂建設工業(株)
②地下防水工事	193,600 円	宮坂建設工業(株)
③中性能フィルター改修工事	2,750,000 円	(株)日本サーモエナー北海道支店
合 計	4,923,600 円	

4 施設維持管理用備品購入

①消火器 購入	92,950 円	(株)三浦商店
②連続炊飯システム 購入	10,285,000 円	日本調理機(株)北海道支店
③高圧洗浄機 購入	29,480 円	(株)三浦商店
④電動缶切機 購入	145,200 円	(株)中西製作所北海道支店
合 計	10,552,630 円	

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
学校給食センター空調機フィルター改修工事 中性能フィルター新設	2,750,000			2,736,000	14,000	(株)日本サーモエナー 北海道支店 R3.6.18~R3.8.31
芽室町学校給食センター基礎防水改修工事 基礎外部表面塗膜防水材塗布	1,980,000			1,976,000	4,000	宮坂建設工業(株) R3.7.5~R3.9.10
学校給食センター地下防水工事 地下床部分防水材塗布	193,600			193,000	600	宮坂建設工業(株) R4.2.8~R4.3.4
合計	4,923,600			4,905,000	18,600	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
9	教育費	1	5	給食センター管理費	210304	給食材料購入事業

事務事業名	給食材料購入事業
-------	----------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 給食の実施と衛生管理の他、個別対応を必要とする児童生徒への対応、めむろまるごと給食など地元の農畜産物について理解と関心を深めるための給食業務を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町内小中学校7校の児童生徒数
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進を図る。また、食に関する指導を効果的に進めるための教材として活用する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・すべての児童生徒が安全かつ楽しく喫食できるよう、食物アレルギー対応を行っているが、対応内容が多岐にわたり複雑化しているため、国の対応指針に沿った対応が必要となっている。 ・学校給食を通じた食育・食農教育の推進を図るため、積極的に芽室産食材を使用している。授業や給食時間に生産者から児童生徒に対し、食材や農業について伝えてもらう機会を取り入れているが、この活動をより多くの生産者に周知し協力してもらえる体制づくりが必要となっている。 ・国の第3次食育推進基本計画では「学校給食における地場産物(都道府県内産)を使用する割合」の目標値(品目数ベース)を30%以上と定めており、本町の令和3年度道内産使用率(品目数)は6月・11月の全国定点調査で46.2%である。(北海道は48.7%、十勝は52.1%、いずれも令和元年度)。なお、国は第4次計画(令和3年度開始)では金額ベースに変更が決定。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・本町のアレルギー対応マニュアルの見直しを令和3年度に行った。 ・前年度は多くの生産者に協力をしてもらい、生産者の顔やメッセージを資料にまとめ、掲載することができた。また、給食時間に栄養教諭が農業や給食についての話をを行った。子どもたちが農業を身近に感じ、食べる意欲に繋がった。今後も継続していく。 ・地場産物を継続的に使用していくため、身近な生産者や地域とのつながりが必要。 ・給食費保護者負担金について、食育・食農推進の観点から、昨年度と同様、値上げした1食当たり22円分を町費で負担する。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	5,364,672		
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	78,890,310	92,462,108	92,887,000
		一般財源	円	10,981,917	9,785,105	7,762,000
		事業費計(A)	円	95,236,899	102,247,213	100,649,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.4215	0.6086	
人件費計(B)		円	3,345,623	4,740,852		
		トータルコスト(A+B)	円	98,582,522	106,988,065	
活動指標	給食材料代		千円	95,237	102,248	100,649
	年間給食日数		日	204	208	210

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
学校給食費保護者負担金	円	68,397,454	80,752,504	81,442,000
学校給食試食代	円	13,272	18,910	403,000
給食センター職員給食代	円	823,464	805,364	965,000
教職員等給食代	円	9,656,120	10,885,330	10,077,000
新型コロナウイルス対応臨時交付金	円	5,364,672		
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 令和3年度学校給食費内訳

学校給食費保護者負担金(小学校232円、中学校282円)

調定額 80,851,376円 収入済額 80,752,504円

教職員等給食代(小学校254円、中学校304円)

調定額 10,885,330円 収入額 10,885,330円

学校給食試食代 18,910円(食材代)

給食センター職員給食代 805,364円(食材代)

※学校給食保護者負担金、教職員等給食代は基準日数に基づく調定

2 令和3年度学校給食提供数

小学校 230,005食

中学校 132,668食

試食 35食

給食センター職員 3,798食

3 令和3年度給食材料区分別購入内訳

区分	提供日数	購入金額	備考
牛乳等	208日	18,028,989円	牛乳=200ml
米飯	124日	5,507,812円	週3回
パン	42日	7,110,471円	週1回
麺類	42日	4,123,992円	週1回
副食	208日	66,941,339円	
特別行事食	1日	534,610円	卒業式紅白まんじゅう
合計		102,247,213円	

4 令和3年度学校給食食材産地内訳(めむろまると給食含む)

品目	総数量(kg)	芽室産		十勝産		道内産		その他	
		数量(kg)	割合	数量(kg)	割合	数量(kg)	割合	数量(kg)	割合
米	16,200					16,200	100.0%		
大麦	2,400							2,400	100.0%
小麦粉	13,117	3,467	26.4%			9,650	73.6%		
野菜類	39,192	16,811	42.9%	7,157	18.3%	4,021	10.3%	11,203	28.5%
肉類	8,438	736	8.7%	516	6.1%	6,325	75.0%	861	10.2%
卵・魚・味噌・豆腐類	8,321			7,646	91.9%	638	7.7%	37	0.4%
小計	87,668								
牛乳	70,652			70,652	100.0%				
合計	158,320	21,014	13.27%	85,971	54.3%	36,834	23.27%	14,501	9.16%

事務事業の成果に関する説明

5 「めむろまるごと給食」実施状況

実施月日	メニュー	食数
5月14日	ターメリックライス、ドライカレー、牛乳、アスパラとじゃがいものサラダ	1875食
6月4日	麦入りごはん、牛乳、しいたけのみそ汁、牛肉とごぼうのしぐれ煮、コーンと枝豆のマヨあえ	1870食
7月9日	ピラフ、牛乳、ミネストローネ、豚肉としめじのソテー	1825食
9月10日	めむろがぶりサンド、牛乳、キャベツとブロッコリーのスープ	1870食
10月8日	中華丼、牛乳、ワンタンスープ、キャベツと大根のサラダ	1865食
11月12日	麦入りごはん、牛乳、すき焼き風煮、ヤーコンサラダ	1812食
12月10日	麦入りごはん、牛乳、ちゃんこ鍋、豚肉と野菜の炒め物	1863食
2月4日	プルコギ丼、牛乳、わかめスープ、コーンとハムのサラダ	1771食
3月4日	麦入りごはん、牛乳、中華風野菜スープ、チンジャオロース	1697食

めむろまるごと給食試食数 14食

6 「食の指導」実施数

	内容	指導者	芽小	西小	南小	上小	芽中	西中	上中
食に関する指導	食事の重要性、栄養バランス、心身の健康等	栄養教諭	19クラス 各1回	10クラス 各1回	6クラス 各1回	4学年 各1回	12クラス 各1回	5クラス 各1回	1クラス 1回
	食農教育(※1)	栄養教諭 ・ 農業士		2クラス 各1回		2学年 各1回			

芽小配属栄養教諭については全給食時間に指導実施。

(※1)食農教育では芽室町の農業と学校給食について学び、地域の特性を生かした給食や食料自給率について考え、感謝の気持ちや食べ物を大切にする心を育む。

7 その他(芽室まるかじりプロジェクト)

栄養教諭による授業を実施
 芽室小学校6年生 3クラス
 芽室西小学校3年生 2クラス

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	1	210110	小学校施設維持管理事業
14	災害復旧費	3	500013	災害復旧事業(学校施設)
		1		
		1		

事務事業名 小学校施設維持管理事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 小学校施設等の工事、修繕、備品購入、保守点検等管理委託
2. 対象(何を対象にしているか) ・小学校児童 ・小学校施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 学校の施設管理を行い、必要に応じて工事、修繕、設備保守点検を実施し、教育環境の向上を目指す。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成21年度の芽室小学校地震補強工事の実施により、町内小学校の耐震化率が100%となった。 環境教育や新エネルギービジョン推進のため、平成23年度から太陽光発電パネルの設置に取り組んでいるほか、児童の生活スタイルの変化から、トイレ洋式化を行った。 現状の各学校施設は老朽化が進んでいるため、令和元年度に学校施設等長寿命化計画を策定した。これにより学校施設の長寿命化に向けた効率的な工事計画を検討する。 また、多様な児童・生徒が学校で安全に日常生活を過ごせるようバリアフリー化や、コロナ禍において教室以外の場所で換気対策が必要なのか注視していく。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 今年度は大規模な改修工事等はなく、平常の維持管理に努める。各校とも大規模改修等を経ながらも全体的に老朽化が進行しているところではあるが、学校施設等長寿命化計画に基づき、各所の改修等を進めていく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円	134,722,000	3,051,000	
		地方債	円	197,800,000	6,000,000	
		その他(使用料等)	円	1,005,108	2,884,932	2,139,000
		一般財源	円	132,469,363	78,043,498	84,523,000
		事業費計(A)	円	465,996,471	89,979,430	86,662,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.1866	0.2250	
人件費計(B)		円	1,481,123	1,752,370		
トータルコスト(A+B)		円	467,477,594	91,731,800		
活動指標	修繕件数	件	116	86	116	
	工事件数	件	4	2	2	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
学校施設開放事業利用者負担金(小学校管理費)	円	1,800	5,400	72,000
太陽光買電収入(小学校管理費)	円	73,308	65,532	72,000
寄附金管理基金繰入金	円	930,000	1,814,000	1,995,000
芽室小学校学校施設環境改善交付金-R1繰越	円	95,245,000		
芽室小学校校舎トイレ等改修交付金-R1繰越	円	2,378,000		
小学校情報ネットワーク環境整備国庫補助金	円	22,306,000		
芽室小学校体育館等改修事業債-R1繰越	円	156,600,000		
芽室小学校校舎トイレ等改修事業債-R1繰越	円	19,400,000		
小学校情報ネットワーク環境整備事業債	円	21,800,000		
新型コロナウイルス対応臨時交付金	円	14,793,000		
芽室小学校学校施設環境改善交付金	円		3,051,000	
芽室小学校東側非常口設置事業債	円		6,000,000	
公共施設整備基金繰入金	円		1,000,000	
西小・南小冷房設備対応臨時特例交付金-H30繰越	円			
西小・南小パソコン教室空調設備設置事業債-H30繰越	円			

事務事業の成果に関する説明

1 学校環境の整備

・校下の特色ある環境づくりとスケートリンクの整備を進めるため、学校環境整備及びスケートリンク造成費報償と地域PTAの協力、公務補による環境美化整備を図った。

芽室小学校	380,000円
上美生小学校	180,000円
芽室西小学校	380,000円
芽室南小学校	380,000円
計	1,320,000円

2 学校施設の整備

芽室小学校 東側非常口設置工事	9,064,000円
芽室小学校・上美生小学校 受変電設備改修工事	2,200,000円
計	11,264,000円

3 学校備品の整備

芽室小	刈り払い機	
	乗用芝刈り機	
	職員用椅子	
	図工室椅子	
	掃除機	
	掃除機	
	特別支援学級教室椅子	
	保健室用ソファー	
芽室西小	印刷機	
	芝刈り機	
	折りたたみ椅子	
	折りたたみ椅子用台車	
	掃除機	
芽室南小	ブロワ	
	ヘッジトリマー	
	裁断機	
	視力計	
上美生小	ジョイントカラーフロアマット	
	スポーツ軽量マット	
	芝刈り機	
	布製パーテーション	
	木製両面ホワイトボード	
	計	3,075,215円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室小学校東側非常口設置工事-R2 繰越	9,064,000	3,051,000	6,000,000		13,000	(株)佐野工務店 R3.6.28~R3.9.21
芽室小学校・上美生小学校受変電設備改修工事	2,200,000				2,200,000	道産商事(株) R3.10.11~R4.1.28
合計	11,264,000	3,051,000	6,000,000		2,213,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210111	小学校管理運営事業

事務事業名 小学校管理運営事業

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員人事、給与、服務規律関係事務 ・学校経営活動の推進 ・学校教育関係消耗品、管理経費の支出
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 ・教職員 ・児童
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育指導力の高い教職員を配置すると共に、教職員が安心して職務に専念できる環境を提供し、教育内容の質を高める。 ・開かれた学校経営の推進を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律に基づく芽室町立学校教職員の服務監督、学校管理や義務教育の充実、学校管理経費の財源確保が課題である。 ・学校の働き方改革に向けた出退勤システム導入及び留守番電話機能の導入の検討が課題となっていたが、留守番電話機能はR3、出退勤システムを兼ねた校務支援システムはR4当初に導入した。
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>学校の働き方改革に資するため導入した、校務支援システムや留守番電話機能を運用していく。また、運用の中で生じる課題等の検証が必要</p> <p>また、引き続き働き方改革に資する取組等について調査・研究を進め、芽室町立学校における働き方改革推進プランに定めた取り組みを推進していく。</p>

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	523,150	596,160	648,000
		一般財源	円	15,659,337	14,963,810	16,053,000
		事業費計(A)	円	16,182,487	15,559,970	16,701,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.4489	0.4297	
人件費計(B)		円	3,563,108	3,347,626		
トータルコスト(A+B)		円	19,745,595	18,907,596		
活動指標	消耗品の購入に要した経費	円	8,666,433	8,008,877	8,428,000	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細部名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
臨職労働保険料個人負担金(小学校管理費)	円	523,150	596,160	648,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 開かれた学校づくり推進事業

・学校の運営に関して芽室町教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画の促進及び連携強化を図り、もって、学校、保護者及び地域の住民との信頼関係を深め、学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に寄与することを目的として設置される「学校運営協議会」の運営に対し支援を行った。

小学校名	金額	学校運営協議会開催状況	委員出席延人数
芽室小学校	69,878円	3回開催	44人
芽室西小学校	53,760円	4回開催	32人
芽室南小学校	46,862円	3回開催	26人
計	170,500円		

※上美生小学校は、中学校と合同で開催(3回。予算科目:中学校費)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	2	1	210112	教員住宅管理事業(小)

事務事業名 教員住宅管理事業(小)

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・教職員住宅の管理 ・必要に応じ修繕、工事の実施
2. 対象(何を対象にしているか) ・教職員 ・教職員住宅
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 教職員が安全・安心・快適に日常生活を送れるようにする。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 教職員住宅の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕を行い、長寿命化を図る課題がある。また、空き家の教職員住宅は、特に老朽化が進んでいる状況から入居希望者のニーズ把握も必要。 令和元年度に教員住宅の在り方基本方針を策定したことから、今後の建替え及び集約化等の具体的検討が必要。 また、管理職の教員住宅入居の在り方についても検討が必要。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 2022年度は麻生町教員住宅内部改修工事並びにF14の物置更新工事を実施。 また、令和元年12月策定の「芽室町教員住宅の在り方基本方針」については、状況が変動しており、実行計画・予算編成等での議論や入居の制度、現状を抑えた上で、公共施設等総合管理計画等踏まえながら見直しを行い、これを踏まえ改修計画等を定める。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	2,298,600	5,722,000	1,507,000
		一般財源	円	6,192,719	△ 447,278	9,059,000
	事業費計(A)	円	8,491,319	5,274,722	10,566,000	
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.0920	0.1015	
人件費計(B)		円	730,243	791,017		
		トータルコスト(A+B)	円	9,221,562	6,065,739	
活動指標	修繕箇所数		件	12	7	12
	工事箇所数(戸数)		戸	2	1	2

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細部名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
教員住宅(小学校)貸付収入	円	2,298,600	1,722,000	1,507,000
公共施設整備基金繰入金	円		4,000,000	
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 教職員住宅の整備

・教職員住宅の老朽化に対応し、居住環境の向上を図るため、内装改修等の工事を実施した。

麻生町教職員住宅内部改修工事(F-14-2)	4,195,580円
------------------------	------------

・教職員住宅の居住環境を整えるため、7件の修繕を実施した。

芽室西小	ガス瞬間湯沸器交換
芽室西小	洗濯排水詰まり修理
芽室西小	玄関ホール床修繕
芽室小・芽室西小	網戸張替修繕(F-12)(D-1)
芽室西小	校長住宅トイレ換気扇取付修繕代
麻生町	換気扇修繕代
上美生	内装修繕

1,008,540円

建設事業等の説明 (単位:円)						備 考
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財 源 内 訳				
		国道支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
麻生町教職員住宅 内部改修工事 (F14-2内部改修 工事)	4,195,580			4,000,000	195,580	(有)熊谷建設 R3.11.22~R4.2.10
合 計	4,195,580			4,000,000	195,580	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210227	要・準要保護児童就学援助事業(小学校)

事務事業名 要・準要保護児童就学援助事業(小学校)

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 就学困難な児童の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の児童は修学旅行費が補助対象)
2. 対象(何を対象にしているか) 就学困難と認められる児童の保護者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 就学困難な児童の保護者の経済的負担を軽減する

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・就学困難な児童の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の児童は修学旅行費のみ補助対象) ・2018年度新入学児童から、新入学用品費の入学前支給を実施した。(2月末支給) ・2019年度については、要保護児童生徒援助費補助金の新入学用品費の金額が上がったことから、新入学前支給の金額についても増額して支給を行った。 ・2019年度、卒業アルバム費等の支給項目が追加されたことから、小学校6学年のアルバム注文者の児童世帯に、卒業アルバム費の支給を行った。 ・援助が必要な世帯に援助ができるよう、周知に努める。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・法に基づき、適正に支給する。 ・2022年度より、児童用タブレットを日常的な家庭学習のために持ち帰った際、各家庭でwifi環境を整備する必要があることから、オンライン学習通信費の支給を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			13,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	9,400,508	8,884,875	12,522,000
		事業費計(A)	円	9,400,508	8,884,875	12,535,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2044	0.2077	
人件費計(B)		円	1,622,035	1,617,749		
		トータルコスト(A+B)	円	11,022,543	10,502,624	
活動指標	児童数		人	1,087	1,046	1,012

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
要保護児童生徒援助費国庫補助金	円			13,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 就学援助費内訳

項目	人数	金額
学用品費	115人	1,274,471円
通学用品費等	115人	396,617円
新入学学用品費	5人	255,300円
P T A 会費	92件	311,903円
体育実技用具費	27人	318,870円
修学旅行費	28人	661,812円
給食費	115人	5,025,352円
卒業アルバム費	28人	262,130円
計		8,506,455円

2 就学援助認定率(年度末)

学校名	児童数	認定者数	認定率
芽室小学校	619人	75人	12.12%
上美生小学校	35人	1人	2.86%
芽室西小学校	308人	39人	12.66%
芽室南小学校	84人		
計	1,046人	115人	10.99%

3 新入学用品費入学前支給

学校名	支給人数	金額
芽室小学校	4人	216,240円
上美生小学校		
芽室西小学校	3人	162,180円
芽室南小学校		
計	7人	378,420円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210224	学校健康診断実施事業(小学校)

事務事業名	学校健康診断実施事業(小学校)
-------	-----------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 学校健診(内科検診、歯科検診、尿検査、心臓健診等)を実施する。 また、町単独の事業として生活習慣病検査(血液検査)を小学校4年生の児童を対象に実施する。 教職員の福利厚生充実のため、教職員を対象とした、健康診断も実施する。
2. 対象(何を対象にしているか) 小学校の児童 小学校の教職員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 身体の異常の早期発見と適切な指導を行う。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 学校保健安全法に基づき学校健診を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施を図る。 ・小学校4年生を対象にした、生活習慣病検査は学校保健安全法に規定されている健診ではなく、町独自で実施している検査であり、将来への生活習慣病予防のきっかけづくりとなっている。 ・2021年度から会場を公立芽室病院に変更した。 ・2020年度と比較し、受診率は低下したが、所見がみられる児童に受診を勧奨したため、要指導・要治療率は増加しており、以前に比べ生活習慣病のリスクがある児童への早期発見・早期介入となっている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・生活習慣病検査について、小学校4年生の希望者に加え、新たに学校の2計測(身長・体重)から算出したローレル指数、BMI指数において所見が見られる児童も対象とする。 ・栄養教諭が実施する「食に関する指導」に生活習慣病予防の内容を小4以降に加える。 ・町の保健師や栄養士から、生活習慣病予防の知識啓発となる情報を学校に提供し、保健室掲示や、保護者向けの保健だよりに、生活習慣病予防に係る正しい知識の啓発を盛り込む。 ・上記の取組を2022年度においても継続することで、検査を受診しない児童やその保護者に対しても、生活習慣病予防について情報発信をし、町内児童の健康改善に繋げる。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	8,483,753	8,518,291	9,043,000
		事業費計(A)	円	8,483,753	8,518,291	9,043,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1862	0.1706	
人件費計(B)		円	1,477,937	1,328,622		
		トータルコスト(A+B)	円	9,961,690	9,846,913	
活動指標	各種健康診断受診者延人数	人	3,386	3,236	3,187	
	各種健康診断受診者数(教職員)	人	106	104	102	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 主な施策の成果

(1) 生活習慣病検査の実施

869,760 円

・令和3年度から実施形態等を変更

①検査会場

(旧)各学校を会場とし、公立芽室病院の看護師を派遣することで血液検査を実施。

(新)公立芽室病院を会場とし、保護者同伴のもとで血液検査を実施。

②受診対象者の拡大

(旧)小学校4年生の希望者のみ

(新)上記の対象者に加え、新たに学校の2計測(身長・体重)から算出したローレル指数、BMI指数において所見が見られる児童

・他関係課との連携状況

検査結果を公立芽室病院の医師が判断し、要治療・要指導とされた児童とその保護者に対して、町の保健師・栄養士による個別相談を実施。

・受診率等

	小学4年生	小学有所見者	小学 計
受診率	38.9%(74/190)	52.4%(22/42)	41.4%(96/232)
要指導率	10.8%(8/74)	63.6%(14/22)	22.9%(22/96)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210239	教材・教具整備事業(小学校)

事務事業名	教材・教具整備事業(小学校)
-------	----------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 小学校4校の教育課程に係る備品、消耗品及び図書等の購入・整備を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 小学校4校の児童と教職員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 授業の実施状況に合わせた教材・教具を整備することにより、効率的・効果的な授業の実施等、学校教育の充実を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・町内小学校の授業等で必要な教材・教具及び学校図書の購入・維持管理。 ・2019年度より、校務用・教育用コンピューター等の計画更新を行っている。 ・2020年度より、ICT整備・活用指針に基づき、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備を行っている。 【課題】 ・GIGAスクール構想の運用に向けたハード面の整備を引き続き行うとともに、ソフト面についても検討が必要である。 ・令和8年度に児童用タブレットの更新時期を迎えるが、更新方法について検討が必要である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・以下のスケジュールで校務用パソコン、パソコン教室用(中学校のみ)パソコン及び周辺機器等の更新を進める。(備荒資金の利用を予定) 2022年度 上美生中学校 ・鍵盤/ハーモニカ購入費助成について、2023年度以降は対象者を就学援助対象者に限定する。 【解決策】 ・全小中学校に大型提示装置を導入する。(2021-2022年度の2ヶ年計画、2022年度は新型コロナウイルス対策学校教育事業で予算計上。) ・教育支援ソフトについて、教員で構成する検討チームで必要性を協議し、導入の検討を行う。 ・令和8年度の児童用タブレットの更新に向け、国庫補助の情報収集やBYOD(自分の端末使用)も含め検討を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			514,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	2,125,612	4,452,350	2,247,000
		一般財源	円	15,555,899	25,668,111	30,675,000
		事業費計(A)	円	17,681,511	30,120,461	33,436,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2548	0.2761	
人件費計(B)		円	2,022,659	2,150,574		
		トータルコスト(A+B)	円	19,704,170	32,271,035	
活動指標	購入額		円	17,681,511	30,120,461	33,436,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
寄附金管理基金繰入金	円	1,820,000	4,137,000	2,247,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(小学校管理費)	円	305,612	315,350	
公立学校情報機器整備費補助金	円			514,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 主な施策の成果

(1) 情報教育推進のためのパソコン等設置 7,425 円

- ・令和3年度 更新導入
 ~北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和7年度までの5年払い
 小学校4校 プリンタ 33台

(2) 鍵盤ハーモニカ購入費助成金 261,000 円

- 小学1年生を対象に購入費の助成
 1,800 円 × 135 人 = 243,000 円 ... 全世帯対象分
 1,800 円 × 10 人 = 18,000 円 ... 要保護・準要保護世帯加算分

(3) 教材消耗品・備品の整備 5,874,235 円

項目	金額	購入物品
教育課程教材消耗品	2,315,546 円	カラスティックのり、カラーボード、半紙ほか
教育課程教材備品	2,807,699 円	デジタルカメラ、ラミネーター、ストップウォッチほか
吹奏楽楽器備品	750,990 円	あわせシンバル、ユーフォニウム、トロンボーン

(4) 学校図書館の状況

学校名	R2年度末冊数 A	購入・寄贈 B	廃棄 C	R3年度末冊数 D=A+B-C	図書標準達成率 D/E	図書標準冊数 E
芽室小学校	13,661	300	0	13,961	111.2%	12,560
上美生小学校	6,141	136	0	6,277	112.9%	5,560
芽室西小学校	11,040	242	634	10,648	100.8%	10,560
芽室南小学校	8,084	167	0	8,251	117.9%	7,000
合計	38,926	845	634	39,137	109.7%	35,680

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	3 中学校費	1 学校管理費	210120 中学校施設維持管理事業
14	災害復旧費	3 その他公用・公共施設災害復旧費	1 公立学校災害復旧費	500013 災害復旧事業(学校施設)

事務事業名 中学校施設維持管理事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
中学校施設等の工事、修繕、備品購入、保守点検等管理委託

2. 対象(何を対象にしているか)

- ・中学校生徒
- ・中学校施設

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

学校の施設管理を行い、必要に応じて修繕、工事、設備保守点検を実施し、教育環境の向上を目指す。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

平成18年度の芽室中学校地震補強工事の実施により、町内中学校の耐震化率が100%となった。
環境教育や新エネルギービジョン推進のため、平成21年度から太陽光発電パネルの設置に取り組んでいるほか、生徒の生活スタイルの変化から、トイレ洋式化を行った。
現状の各学校施設は老朽化が進んでいるため、令和元年度に学校施設等長寿命化計画を策定したことから、学校施設の長寿命化に向けた効率的な工事計画を検討する。
また、多様な児童・生徒が学校で安全に日常生活を過ごせるようバリアフリー化や、コロナ禍において教室以外の場所で換気対策が必要なのか注視していく。

2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

2022年度は芽室西中学校の内部改修工事(照明設備等)を実施する。
各校とも大規模改修等を経ながらも全体的に老朽化が進行しているところではあるが、学校施設等長寿命化計画に基づき、各所の改修等を進めていく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円	26,201,000	45,797,000	
		地方債	円	13,900,000	186,500,000	
		その他(使用料等)	円	11,529,340	1,676,232	179,000
		一般財源	円	51,351,002	70,116,561	61,957,000
	事業費計(A)	円	102,981,342	304,089,793	62,136,000	
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.1567	0.1741	
人件費計(B)		円	1,243,794	1,356,456		
トータルコスト(A+B)		円	104,225,136	305,446,249		
活動指標	修繕件数	件	56	57	56	
	工事件数	件	2	2	3	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
学校施設開放事業利用者負担金(中学校管理費)	円	4,500		170,000
太陽光買取収入(中学校管理費)	円	24,840	2,232	9,000
寄附金管理基金繰入金	円	500,000	1,674,000	
公共施設整備基金繰入金	円	11,000,000		
芽室西中学校学校施設環境改善交付金-R2繰越	円		45,797,000	
芽室中学校学校施設環境改善交付金	円			
市町村振興協会地域振興助成金	円			
芽室中学校外付エレベーター設置事業債	円			
芽室西中学校校舎外壁・体育改修事業債-R2繰越	円		186,500,000	
電気使用料(中学校管理費)	円			
新型コロナウイルス対応臨時交付金	円	11,996,000		
中学校情報通信ネットワーク環境整備国庫補助金	円	14,205,000		
中学校情報通信ネットワーク環境整備事業債	円	13,900,000		

事務事業の成果に関する説明

1 学校環境の整備

・校下の特色ある環境づくりとスケートリンクの整備を進めるため、学校環境整備及びスケートリンク造成費報償と地域PTAの協力、公務補による環境美化整備を図った。

芽室中学校	360,000円
上美生中学校	125,584円
芽室西中学校	300,000円
計	785,584円

2 学校施設の整備

芽室西中学校 屋上外壁改修工事	234,113,000円
芽室西中学校 複合防災盤更新工事	6,380,000円
計	240,493,000円

3 学校備品の整備

芽室西中 アルミ製ベンチ	
芽室西中 掛布団	
芽室西中 集会用テント	
芽室西中 折りたたみ式リヤカー	
芽室西中 美術机	
芽室西中 敷布団	
芽室中 印刷機	
芽室中 視力計	
芽室中 除雪機	
芽室中 体育館倉庫用棚	
芽室中 体育教官室用椅子	
芽室中 体育教官室用机	
芽室中 展示板	
芽室中 美術室椅子	
芽室中 粉末消火器	
上美生中 ラミネーター	
上美生中 刈り払い機	
上美生中 粉末消火器	

計	2,304,696円
---	------------

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室西中学校屋上 外壁改修工事-R2 繰越	234,113,000	45,797,000	186,500,000		1,816,000	北土開発・鍵谷特定 建設工事共同企業体 R3.6.2~R3.12.1
芽室西中学校複合 防災盤更新工事	6,380,000				6,380,000	道産商事(株) R3.10.11~R4.1.24
合計	240,493,000	45,797,000	186,500,000		8,196,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210121	中学校管理運営事業

事務事業名 中学校管理運営事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・教職員人事、給与、服務規律関係事務 ・学校経営活動の推進 ・学校教育関係消耗品、管理経費の支出
2. 対象(何を対象にしているか) ・中学校 ・教職員 ・生徒
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・教育指導力の高い教職員を配置すると共に、教職員が安心して職務に専念できる環境を提供し、教育内容の質を高める。 ・開かれた学校経営の推進を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・法律に基づく芽室町立学校教職員の服務監督、学校管理や義務教育の充実、学校管理経費の財源確保が課題である。 ・学校の働き方改革に向けた出退勤システム導入及び留守番電話機能の導入の検討が課題となっていたが、留守番電話機能はR3、出退勤システムを兼ねた校務支援システムはR4当初に導入した。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 学校の働き方改革に資するため導入した、校務支援システムや留守番電話機能を運用していく。また、運用の中で生じる課題等の検証が必要 また、引き続き働き方改革に資する取組等について調査・研究を進め、芽室町立学校における働き方改革推進プランに定めた取り組みを推進していく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	540,743	599,261	660,000
		一般財源	円	14,638,593	14,143,397	14,401,000
		事業費計(A)	円	15,179,336	14,742,658	15,061,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.3881	0.3804	
人件費計(B)		円	3,080,513	2,963,172		
トータルコスト(A+B)		円	18,259,849	17,705,830		
活動指標	消耗品の購入に要した経費	円	8,187,406	7,336,324	7,580,000	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
私用電話料(中学校管理費)	円	10,110	8,420	12,000
臨職労働保険個人負担金(中学校管理費)	円	530,633	590,841	648,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 開かれた学校づくり推進事業

・学校の運営に関して芽室町教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画の促進及び連携強化を図り、もって、学校、保護者及び地域の住民との信頼関係を深め、学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に寄与することを目的として設置される「学校運営協議会」の運営に対し支援を行った。

学校運営協議会名	金額	学校運営協議会開催状況	委員出席延人数
芽室中学校	90,873円	3回開催	43人
芽室西中学校	61,188円	4回開催	39人
上美生小中学校	67,045円	3回開催	43人
計	219,106円		

建設事業等の説明 (単位：円)						備 考
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財 源 内 訳				
		国道支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
麻生町教職員住宅 内部改修工事(ユ ニットバス改修工 事4戸)	5,341,420			5,000,000	341,420	(有)熊谷建設 R3.11.22~R4.2.10
合 計	5,341,420			5,000,000	341,420	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	3 中学校費	1 学校管理費	210122 教員住宅管理事業(中)
14	災害復旧費	3 その他公用・公共施設災害復旧費	1 公立学校災害復旧費	500013 災害復旧事業(学校施設)

事務事業名 教員住宅管理事業(中)

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・学校教職員住宅の維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) ・教職員 ・教職員住宅
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 教職員が安全・安心・快適に日常生活を送れるようにする。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 教職員住宅の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕を行い、長寿命化を図る課題がある。また、空き家の教職員住宅は、特に老朽化が進んでいる状況から入居希望者のニーズ把握も必要。 令和元年度に教員住宅の在り方基本方針を策定したことから、今後の建替え及び集約化等の具体的検討が必要。 また、管理職の教員住宅入居の在り方についても検討が必要。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 2022年度は改修工事等なく、平常の維持管理に努める。 また、令和元年12月策定の「芽室町教員住宅の在り方基本方針」については、状況が変動しており、実行計画・予算編成等での議論や入居の制度、現状を抑えた上で、公共施設等総合管理計画等踏まえながら見直しを行い、これを踏まえ改修計画等を定める。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	1,717,600	6,454,000	1,063,000
		一般財源	円	△ 903,198	647,455	△ 213,000
		事業費計(A)	円	814,402	7,101,455	850,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.0943	0.1010	
人件費計(B)		円	748,499	786,498		
トータルコスト(A+B)		円	1,562,901	7,887,953		
活動指標	修繕箇所数	件	8	8	8	
	工事箇所数(戸数)	戸		1		

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細部名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
教員住宅(中学校)貸付収入	円	1,717,600	1,454,000	1,063,000
公共施設整備基金繰入金	円		5,000,000	
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 教職員住宅の整備

・教職員住宅の老朽化に対応し、居住環境の向上を図るため、内装改修等の工事を実施した。

麻生町教職員住宅ユニットバス改修工事 (F-10、F-14 各2戸 計4戸)	5,341,420円
---	------------

・教職員住宅の居住環境を整えるため、7件の修繕を実施した。

芽室西中 水抜栓及び揚水管他配管修繕	
上美生中 教員住宅灯油タンク取り替え修繕	
上美生 排水樹修繕(ポリパイプ使用)	
上美生 トイレ修繕	
上美生 屋外排水管修繕代	
上美生 水栓修繕代	
芽室西中 網戸修繕	
上美生 ケーブル・サドル止め修繕代	
麻生町 屋根トタン修繕代	
上美生中 階段板修繕代	
麻生町 ピストン取替修繕代	
上美生中 シャワー混合栓修繕代	
芽室中 ボイラー修理点検代	
麻生町 TV共聴修繕代	

706,474円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210228	要・準要保護生徒就学援助事業(中学校)

事務事業名	要・準要保護生徒就学援助事業(中学校)
-------	---------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象)
2. 対象(何を対象にしているか) 就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象)
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 就学困難な生徒の保護者の経済的負担を軽減する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象) ・2018年度新入学生徒から、新入学用品費の入学前支給を実施した。(2月末支給) ・2019年度については、要保護児童生徒援助費補助金の新入学用品費の金額が上がったことから、新入学前支給の金額についても増額して支給を行った。 ・援助が必要な世帯に援助ができるよう、周知に努める。 ・2019年度、卒業アルバム費等の支給項目が追加されたことから、中学校第3学年のアルバム注文者の生徒世帯に、卒業アルバム費の支給を行った。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・法に基づき、適正に支給する。 ・2022年度より、生徒用タブレットを日常的な家庭学習のために持ち帰った際、各家庭でwifi環境を整備する必要があることから、オンライン学習通信費の支給を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円		31,000	70,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	12,188,146	12,819,995	14,020,000
		事業費計(A)	円	12,188,146	12,850,995	14,090,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2015	0.2047	
人件費計(B)		円	1,599,770	1,594,905		
		トータルコスト(A+B)	円	13,787,916	14,445,900	
活動指標	生徒数		人	632	626	579

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
要保護児童生徒援助費国庫補助金	円		31,000	70,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 就学援助費内訳

項目	人数	金額
学用品費	92人	2,030,538円
通学用品費等	92人	342,890円
新入学学用品費	1人	60,000円
P T A 会費	82件	267,286円
生徒会費	92人	55,750円
部活動費	63人	1,071,375円
体育実技用具費	30人	354,300円
修学旅行費	34人	1,879,742円
給食費	91人	4,787,514円
卒業アルバム費	37人	321,600円
計		11,170,995円

2 就学援助認定率(年度末)

学校名	生徒数	認定者数	認定率
芽室中学校	445人	62人	13.93%
上美生中学校	20人	3人	15.00%
芽室西中学校	161人	28人	17.39%
計	626人	93人	14.86%

3 新入学用品費入学前支給

学校名	支給人数	金額
芽室中学校	17人	1,020,000円
上美生中学校	1人	60,000円
芽室西中学校	10人	600,000円
計	28人	1,680,000円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210241	学校健康診断実施事業(中学校)

事務事業名	学校健康診断実施事業(中学校)
-------	-----------------

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>学校健診(内科検診、歯科検診、尿検査、心臓健診等)を実施する。 また、町単独の事業として生活習慣病検査(血液検査)を中学校1年生の生徒を対象に実施する。 教職員の福利厚生の充実のため、教職員を対象とした、健康診断も実施する。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>中学校の生徒 中学校の教職員</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>身体の異常の早期発見と適切な指導を行う。</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>学校保健安全法に基づき学校健診を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施を図る。</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校1年生を対象にした、生活習慣病検査は学校保健安全法に規定されている健診ではなく、町独自で実施している検査であり、将来への生活習慣病予防のきっかけづくりとなっている。 ・2021年度から会場を公立芽室病院に変更した。 ・2020年度と比較し、受診率は低下したが、所見がみられる生徒に受診を勧奨したため、要指導・要治療率は増加しており、以前に比べ生活習慣病のリスクがある生徒への早期発見・早期介入となっている。
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病検査について、中学校1年生の希望者に加え、新たに学校の2計測(身長・体重)から算出したローレル指数、BMI指数において所見が見られる生徒も対象とする。 ・栄養教諭が実施する「食に関する指導」に生活習慣病予防の内容を中1以降に加える。 ・町の保健師や栄養士から、生活習慣病予防の知識啓発となる情報を学校に提供し、保健室掲示や、保護者向けの保健だよりに、生活習慣病予防に係る正しい知識の啓発を盛り込む。 ・上記の取組を2022年度においても継続することで、検査を受診しない生徒やその保護者に対しても、生活習慣病予防について情報発信をし、町内生徒の健康改善に繋げる。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	5,705,973	6,151,661	6,357,000
		事業費計(A)	円	5,705,973	6,151,661	6,357,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1831	0.1675	
人件費計(B)		円	1,453,551	1,304,690		
		トータルコスト(A+B)	円	7,159,524	7,456,351	
活動指標	各種健康診断受診者延人数	人	1,994	1,993	1,912	
	各種健康診断受診者数(教職員)	人	71	69	64	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 主な施策の成果

(1) 生活習慣病検査の実施

1,023,780 円

・令和3年度から実施形態等を変更

①検査会場

(旧)各学校を会場とし、公立芽室病院の看護師を派遣することで血液検査を実施。

(新)公立芽室病院を会場とし、保護者同伴のもとで血液検査を実施。

②受診対象者の拡大

(旧)中学校1年生の希望者のみ

(新)上記の対象者に加え、新たに学校の2計測(身長・体重)から算出したローレル指数、BMI指数において所見が見られる生徒

・他関係課との連携状況

検査結果を公立芽室病院の医師が判断し、要治療・要指導とされた生徒とその保護者に対して、町の保健師・栄養士による個別相談を実施。

・受診率等

	中学1年生	中学有所見者	中学 計
受診率	46.5%(92/198)	45.7%(21/46)	46.3%(113/244)
要指導率	8.7%(8/92)	38.1%(8/21)	14.2%(16/113)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210242	教材・教具整備事業(中学校)

事務事業名	教材・教具整備事業(中学校)
-------	----------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 中学校3校の教育課程に係る備品、消耗品及び図書等の購入・整備を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 中学校3校の生徒と教職員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 授業の実施状況に合わせた教材・教具を整備することにより、効率的な授業の実施等、学校教育の充実を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・町内中学校の授業等で必要な教材・教具及び学校図書の購入・維持管理。 ・2019年度より、校務用・教育用コンピューター等の計画更新を行っている。 ・2020年度より、ICT整備・活用指針に基づき、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備を行っている。 【課題】 ・GIGAスクール構想の運用に向けたハード面の整備を引き続き行うとともに、ソフト面についても検討が必要である。 ・令和7年度に生徒用タブレットの更新時期を迎えるが、更新方法について検討が必要である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・以下のスケジュールで校務用パソコン、パソコン教室用(中学校のみ)パソコン及び周辺機器等の更新を進める。(備荒資金の利用を予定) 2022年度 上美生中学校 【解決策】 ・全小中学校に大型提示装置を導入する。(2021-2022年度の2ヶ年計画、2022年度は新型コロナウイルス対策学校教育事業で予算計上。) ・教育支援ソフトについて、教員で構成する検討チームで必要性を協議し、導入の検討を行う。 ・令和7年度の生徒用タブレットの更新に向け、国庫補助の情報収集やBYOD(自分の端末使用)も含め検討を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			386,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	989,121	2,550,000	1,000,000
		一般財源	円	19,952,552	31,250,901	31,926,000
		事業費計(A)	円	20,941,673	33,800,901	33,312,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.3311	0.3216	
人件費計(B)		円	2,628,080	2,505,547		
		トータルコスト(A+B)	円	23,569,753	36,306,448	
活動指標	購入額		円	20,941,673	33,800,901	33,312,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
寄附金管理基金繰入金	円	500,000	2,550,000	1,000,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(中学校管理費)	円	132,521		
教科書採択協議会運営費負担金	円	356,600		
公立学校情報機器整備費補助金	円			386,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 主な施策の成果

(1) 情報教育推進のためのパソコン設置 15,001,522 円

- ・令和元年度 更新導入
～北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和5年度までの5年払い 6,551,968 円
芽室西中学校 パソコン 70台 プリンタ 10台
- ・令和2年度 更新導入
～北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和6年度までの5年払い 8,449,554 円
芽室中学校 パソコン 82台 プリンタ 12台

(2) 教材消耗品・備品の整備 4,225,387 円

項目	金額	購入物品
教育課程教材消耗品	1,539,920 円	おりがみ、ハチマキ、ラインテープほか
教育課程教材備品	1,642,667 円	プロジェクター、ブルーレイレコーダー、記録タイマーほか
吹奏楽備品	1,042,800 円	トロンボーン、ホルン、ピッコロトランペット

(3) 学校図書館の状況

学校名	R2年度末冊数 A	購入・寄贈 B	廃棄 C	R3年度末冊数 D=A+B-C	図書標準達成率 D/E	図書標準 冊数
芽室中学校	15,511	189	0	15,700	112.8%	13,920
上美生中学校	6,769	152	126	6,795	101.1%	6,720
芽室西中学校	11,160	209	442	10,927	120.9%	9,040
合計	33,440	550	568	33,422	112.6%	29,680

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	1	社会教育総務費	220103	少年教育活動運営事業

事務事業名 少年教育活動運営事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)、西部十勝野外活動体験研修事業「クマゲラの村キッズキャンプ」、ジュニアリーダーコース道東派遣、フレンドリーコンサート、子どもわんぱくキャンプ、メモオロ太鼓保存会子どもの部活動報償、寺子屋めむろ夏・冬、奈井江町児童生徒との標語作品交流、ジモト大学
2. 対象(何を対象にしているか) 芽室町内在住の児童・生徒
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・異なる年齢や地域間の交流を通じてリーダーを育成する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 様々な体験活動をとおして、子どもたちの豊かで健やかな心を育む。集団生活をとおして形成される協調性や自然体験の中での経験が、子どもたちの発達段階ごとの成長に影響を持つと考えられることから、その重要性が求められる。 少年期に地域での豊かな体験活動の機会を持つことにより、郷土愛の醸成を図る。 2019年冬以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、予定していた事業で中止となったものもある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 芽室ジモト大学については、次世代の人材育成、郷土愛の醸成及び地域コミュニティの活性化を目的として、町内中学・高校及び地域住民と連携し、参加生徒の興味関心に応じた多様なプログラムの実施を目指す。 その他の事業についても、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施について検討していく。 今年度、地域おこし協力隊に係る経費のうち、CSコーディネーター分については、コミュニティ・スクール運営事業に計上。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	378,715	409,854	642,000
		一般財源	円	4,169,384	4,412,335	3,116,000
		事業費計(A)	円	4,548,099	4,822,189	3,758,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.6722	0.6980	
人件費計(B)		円	5,335,534	5,437,257		
		トータルコスト(A+B)	円	9,883,633	10,259,446	
活動指標	事業数		回	4	7	10

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
社会教育受講料・個人負担金	円		9,800	642,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(社会教育総務費)	円	378,715	400,054	
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1. わんぱくキッズ(わんぱくキャンプ代替事業) 38,255円/参加者負担金 9,800円
 1) キャンプファイヤー編 7月26日 場所: 集団研修施設かつこう 参加者: 小学生 20人
 2) 自然観察編 8月5日 場所: 新嵐山スカイパークハイキングコース 参加者: 小学生 18人

2. メムオロ太鼓保存会 10,000円
 郷土芸能メムオロ太鼓保存会の活動を支援
 少年の部会員数: 7人

3. 地域学校協働活動(コミュニティ・スクール) 137,820円
 1) 地域学校協働本部会議開催 (第1回: 6月24日、第2回: 3月24日)

2) 学校支援ボランティア活動回数

	活動回数	活動人数	活動時間
芽室小学校	30回	115人	149.5h
上美生小学校			
芽室西小学校	9回	21人	49.75h
芽室南小学校	7回	9人	16.25h
芽室中学校	7回	18人	34.25h
上美生中学校			
芽室西中学校	2回	2人	3.25h
その他	3回	14人	9h
合計	58回	179人	262h

3) 地域学習等講師派遣回数

	活動回数	活動人数	活動時間
芽室小学校			
上美生小学校			
芽室西小学校	1回	3人	13.5h
芽室南小学校			
芽室中学校	13回	16人	44h
上美生中学校	1回	1人	1h
芽室西中学校	3回	6人	9.75h
その他			
合計	18回	26人	68.25h

4. 芽室ジモト大学 201,620円
 1) 自分の未来を考えるシンポジウム (8月6日のみ 1回)
 場所: 新嵐山スカイパークハイキングコース 参加者: 6人
 2) WEBデザイン (8月6日~10月3日 合計4回)
 場所: 芽室町役場会議室、町内各所(取材先) 参加者: 6人(のべ18人)
 3) 商品開発 (10月10日~2月27日 合計6回)
 場所: 芽室町役場会議室、お菓子のまさおか、メムロピーナッツ農場 参加者: 7人(のべ26人)

5. 寺子屋めむろ冬 20,350円
 小学生の長期休業中の学習習慣の習得、書道体験「大筆にチャレンジ!」、講話「天気のお話」
 12月27日、28日、29日、1月6日、7日 10:00~11:45 合計5回
 場所: 中央公民館 参加者: 小学3~6年生 26人(のべ121人)

6. 奈井江町児童生徒との標語作品交流
 芽室町・奈井江町児童生徒標語作品の双方での展示
 芽室町での作品展示: 1月17日~31日

7. 青少年の体験活動推進事業「ジュニアリーダーコース」(道教委等主催)の参加 4,600円
 1月8日~10日 2泊3日
 場所: 道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄 参加者: 管内の中高生20人程度(うち芽室中1人)

8. 地域おこし協力隊員の配置 4,187,432円
 人数: 1名
 業務内容: 芽室ジモト大学事業の企画立案、地域学校協働活動におけるCSコーディネーター業務

※2021年度新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となった事業

- ・少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)
- ・西部十勝野外活動体験研修事業「クマガラの村キッズキャンプ」
- ・フレンドリーコンサート
- ・寺子屋めむろ夏

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	4	220202	公民館施設維持管理事業
		2		

事務事業名	公民館施設維持管理事業
-------	-------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

住民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う。

2. 対象(何を対象にしているか)

町民

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

町民の生涯学習に対する要望に応えるべく、施設を維持管理する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

町民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う。改修工事を行っていない部分については徐々に劣化が進んでおり、計画的な修繕を検討する必要がある。
2022年度から教育支援センター「ゆうゆう」とめむろ町民活動支援センターが公民館に移転した。

2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

施設管理にあたり、長寿命化計画を作成するなど、中長期的な視野に立ち施設修繕等を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	2,213,026	6,121,721	2,755,000
		一般財源	円	49,208,980	49,347,581	44,363,000
		事業費計(A)	円	51,422,006	55,469,302	47,118,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.1660	0.1705	
人件費計(B)		円	1,317,612	1,328,155		
		トータルコスト(A+B)	円	52,739,618	56,797,457	
活動指標	開館日数		日	315	284	352

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
公民館使用料	円	1,681,777	1,691,969	2,335,000
公民館自動販売機等使用料	円	110,199	84,097	104,000
公民館講座受講料	円	420,500	374,375	315,000
私用電話料	円	550	280	1,000
寄附金管理基金繰入金	円		971,000	
公共施設整備基金繰入金	円		3,000,000	
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 芽室町中央公民館の維持管理及び運営

(1) 指定管理の状況

- ① 5カ年(令和2年4月1日～令和7年3月31日)の基本協定書に基づき管理業務を委託
- ② 令和3年度指定管理者年度協定書の締結(年額委託料45,954,000円)

(2) 指定管理事業者による中央公民館の維持管理

- ① 受付、警備業務
- ② 日常清掃及び特別清掃業務
- ③ エレベーター保守点検、電気保守点検、ボイラー保守点検、大ホール舞台吊り物設備保守点検等の実施

(3) 指定管理事業者による中央公民館の運営

① 公民館講座の開設

大人向け講座・・・企画29講座 実施29講座(うちコロナの影響で3講座(6回)及び4講座開講中の開催回数10回の中止を含む)
(実参加者数270人 延べ参加者数767人)

ナチュラルパッチワークキルト、めむろ書道アカデミー、簡単リンパケア、ピラティス講座、陶芸、ペーパークイリング等
児童・生徒向け講座・・・企画6講座 実施6講座(うちコロナの影響で2講座(3回)の中止を含む)

(実参加者数81人、延べ参加者数128人)

篆刻、バルシューレ、スノードーム作り、テンプルアート作り 等

② その他の事業

- ・管内他施設で実施されるコンサートのチケット販売
- ・利用者アンケートの実施
- ・指定管理者自主企画(親子で楽しむ笑顔きらきらコンサート、アフヌンコンサートの実施、北海道民謡、町民クラシックはコロナの影響で中止)

(4) 利用状況

区分	利用延件数	利用延人数	延べ日数
展示ホール	123	7,336	120
大ホール	159	7,795	127
リハーサル室	412	3,802	218
講堂	284	11,251	198
研修室	343	6,047	226
図書資料室	340	5,915	229
会議室1	11	31	10
会議室2	7	45	6
二階和室	109	1,410	61
美術工芸室	198	1,203	136
三階和室	148	901	103
視聴覚室	124	1,339	91
調理実習室	114	1,087	96
合計	2,372	48,162	

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用延件数	3,012	3,090	3,040	3,011	2,491	2,372
利用延人数	81,323	84,908	77,037	75,786	40,483	48,162

(5) その他(主な指定管理外経費)

① 工事請負費

- ・地下タンク改修工事 3,740,000円
- ・調理室排気ファン改修工事 2,057,000円

② 備品購入費

- ・舞台用平台購入費 682,000円

建設事業等の説明 (単位：円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
公衆Wi-Fi改修工事 ・光回線に更新し、インターネット環境を高速化	449,900			340,000	109,900	(株) オーレンス R3. 12. 20～R4. 3. 31
地下タンク改修工事 ・消防法上、対策が必要となる事からタンク内のライニング工事を実施	3,740,000			3,000,000	740,000	(株) 松山工業 R3. 9. 6～R3. 10. 18
調理室排気ファン改修工事 ・特定建築物点検の際に指摘された調理実習室換気量不足のため改修工事	2,057,000				2,057,000	(株) 宮間工業 R3. 12. 27～R4. 3. 25
視聴覚室天井改修工事 ・メモオロ太鼓の活動場所移転により、天井の一部の嵩上げ改修工事	341,000				341,000	丸富士三浦建設(株) R4. 1. 30～R4. 2. 3
合 計	6,587,900			3,340,000	3,247,900	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
9	教育費	4	3	図書館費	220301	図書館維持管理事業

事務事業名 図書館維持管理事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 施設、建物、敷地内の維持管理 各種統計業務、利用の管理
2. 対象(何を対象にしているか) 建物、敷地内施設、図書館利用者、町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 利用環境の快適さ及び利用者数を増やす

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町民、地域の人々が行きかい集う市街地中心部の施設として役割を果たしている。 資料の閲覧・貸出という図書館本来の主体機能だけでなく喫茶コーナー、展示、催事など複合的に活用されているが、町民活動支援センターが中央公民館に移転してきたことでより一層の学びの場の充実、町なかの賑わい創出につなげられることに期待したい。 令和2年度に空調機、令和3年度にWi-Fiが設置され、感染防止対策に取組みながら、全ての人々が安全・快適・便利に利用する施設となった。 未利用者層に対して来館・利用を促す広報や事業展開など図書館運営の充実を図り続けることが大切である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 令和4年度は暖房用循環ポンプ交換、北側出入口ゴムチップタイル塗装工事を実施し快適な利用環境の維持に努める。 又、事務事業は異なるが衛生環境の改善、利用者の利便向上のため衛生費によりトイレ改修工事を実施する。 利用者のニーズや社会状況に合わせ計画的・効率的に施設の維持管理を行っていく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円	37,400,000		
		その他(使用料等)	円	16,651	3,014,743	111,000
		一般財源	円	14,330,447	12,649,363	17,323,000
		事業費計(A)	円	51,747,098	15,664,106	17,434,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.5820	0.4020	
人件費計(B)		円	4,619,578	3,131,486		
トータルコスト(A+B)		円	56,366,676	18,795,592		
活動指標	図書館維持管理費	円	51,747,098	15,447,000	17,434,000	
	図書館と敷地内施設	施設数	2	2	2	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細部名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
図書館喫茶コーナー使用料	円	11,171	8,263	107,000
図書館資料複写代	円	4,650	5,960	3,000
私用電話料(図書館)	円	830	520	1,000
図書館長寿命化改修事業債	円	37,400,000		
公共施設整備基金繰入金	円		3,000,000	
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

■令和3年度利用者数

資料貸出者数 26,218人

行事利用者数 2,808人

合計 29,026人

■令和3年度工事請負費

①芽室町図書館受変電設備更新工事

工期 令和3年8月23日～10月22日

工事概要 屋外遮断器ほか改修

②芽室町図書館Wi-Fi設置工事

工期 令和3年6月1日～令和3年8月6日

工事概要 Wi-Fiルーター等設置

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室町図書館 受変電設備 改修工事 屋外遮断器他改修	4,356,000			3,000,000	1,356,000	道産商事(株) R3. 8. 23~R3. 10. 22
芽室町図書館 Wi-Fi設置工事 Wi-Fiルーター他設置	133,210				133,210	東日本電信電話(株) R3. 6. 1~R3. 8. 6
合計	4,489,210			3,000,000	1,489,210	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	3	図書館費	220302	図書・視聴覚資料の貸出・保存事業

事務事業名 図書・視聴覚資料の貸出・保存事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 利用者への資料提供(閲覧・貸出) 資料の取得・管理・保存 延滞者への返却督促 蔵書点検
2. 対象(何を対象にしているか) 図書館利用登録者、資料、町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 適切に資料を管理し、利用者へ提供する

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 コロナ禍も丸二年を経過し、感染防止対策取組が定着した。 業務量は大幅に増したが、健康福祉課職業体験事業や図書館ボランティア等の援助を受けて遂行している。 利用者の生活様式や図書館ニーズも変容してきており時代に沿った図書館奉仕が求められている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 令和5年度の電子図書館導入のため導入計画策定や規則改正など周辺環境の整備を行う。図書資料、視聴覚資料、新聞雑誌等の逐次刊行物の受入、保存、廃棄を計画的に行い、芽室町に即した蔵書構成の構築を継続する。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	464,584	7,017,700	7,684,000
		一般財源	円	10,075,676	3,345,341	2,851,000
		事業費計(A)	円	10,540,260	10,363,041	10,535,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.5947	0.6131	
人件費計(B)		円	4,768,572	4,775,906		
トータルコスト(A+B)		円	15,308,832	15,138,947		
活動指標						

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
寄附金管理基金繰入金	円	450,000	6,990,000	7,683,000
図書館資料紛失弁償金	円	14,584	27,700	1,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

- 1 図書購入費 7,193,414円
 (1) 一般書 2,784冊(2,612冊)
 (2) 児童書 1,473冊(1,540冊)
 計 4,257冊(4,152冊)
- 2 視聴覚資料購入費 1,073,773円
 (1) CD,DVD 97点(141点)
- 3 図書資料費 1,017,260円
 (1) 雑誌 67誌 806冊(815冊)
 (2) 新聞 9紙
- 4 利用登録者数 15,136人(14,830人) ※ 団体登録、相互貸借図書館を含む。

5 図書館貸出利用者数内訳

区分	図書館資料の利用者数								事業	合計	
	幼児	小学生	中学生	一般				団体			小計
	0~5	6~12	13~15	16~22	23~39	40~59	60~				
R3	1,216	2,287	363	628	4,072	7,665	9,660	327	26,218	2,808	29,026
R2	1,337	2,330	555	839	4,456	8,674	10,635	430	29,256	2,764	32,020

6 図書・雑誌資料別貸出状況

区分	貸出冊数	
	令和3年度	令和2年度
一般書	63,116	68,871
児童書	50,243	53,584
雑誌	9,370	10,974
合計	122,729	133,429

7 視聴覚資料貸出・館内視聴状況

区分	令和3年度	令和3年度 館外(再掲)	令和2年度	令和2年度 館外(再掲)
カセット	0	0	2	2
CD	1,087	1,070	1,678	1,632
ビデオ	165	50	236	80
LD	112		151	
DVD	2,861	2,571	3,815	3,464
合計	4,225	3,691	5,882	5,178

8 蔵書点検の実施

- (1) 実施期間 令和3年6月1日～6月6日
 (2) 点検資料数 123,237点
 (3) 不明資料数 50点

9 未返却などの督促

- (1) 対象者数 50人
 (2) 対象冊数 170冊

10 本の宅配(臨時休館期間実施事業)

- (1) 実施期間 令和3年6月7日～6月20日 令和3年9月2日～9月29日
 (2) 利用者数 計201人
 (3) 貸出冊数 計1,236冊

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	5	ふるさと歴史館	220111	ふるさと歴史館運営事業

事務事業名	ふるさと歴史館運営事業
-------	-------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 体験指導員1名の報酬、各種事業の開催(月別体験学習、歴史館講座、ねんりんフェスティバル、団体体験学習の受入及び指導)、収蔵資料の現状調査、各種事業の周知並びに送迎バスの運行(年1回)、帯広百年記念館運営連絡協議会への参加
2. 対象(何を対象にしているか) 施設来館者(町内・町外在住者)、各種主催事業参加者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 郷土学習・体験学習の場を提供し、郷土の歴史について理解を深める機会を提供する

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 体験型資料館としての特色を活かし、来館者に対するものづくり体験の場を提供することで、郷土の歴史や文化に対する理解を深めてもらう事を目的としている。 事業のマンネリ化が課題となっている。ものづくり体験については、どこでも出来るような工作ではなく、ふるさと歴史館らしさのあるメニューを用意できるよう工夫していく必要がある。 なお、2020年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、例年実施している体験型イベント「ねんりんフェスティバル」を中止し、規模を縮小した特別工作教室を実施している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 町の歴史・文化に興味を持ってもらえるような事業プログラムを検討・実施し、入館者の増加につなげていく。 町の歴史・文化を後世まで伝承するという役割を果たすため、収蔵資料の保存・活用を図る。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	389,468	376,718	377,000
		一般財源	円	3,277,273	2,984,253	3,106,000
		事業費計(A)	円	3,666,741	3,360,971	3,483,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.1544	0.1248	
人件費計(B)		円	1,225,538	972,163		
		トータルコスト(A+B)	円	4,892,279	4,333,134	
活動指標	各種事業実施回数		回	11	14	14

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
会計年度任用職員労働保険個人負担金(ふるさと歴史館費)	円	389,468	376,718	377,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

①施設利用状況

	入館者数			団体体験学習	
	町内	町外	全体	団体数	利用者数
H29	2,119	2,112	4,331	50	1,078
H30	1,795	2,542	4,337	54	1,085
R1	1,639	1,940	3,579	47	844
R2	810	886	1,696	28	434
R3	960	976	1,936	28	837

※団体体験学習(R3)は、10種類の工作メニューから選択

(ミニブック、ストローゴマ、マカロンのキーホルダー、木枝のかけらのキーホルダー、フォトフレーム、牛乳パックのロケットとばしゲーム、ペットボトルのケン玉、お菓子のキャンドル、紙とんぼ、スライム)

②主催事業

・ねんりんフェスティバル 開催中止

・工作及び昔の道具の紹介動画「おうちでねんりん」配信 12月下旬

- (1) ミニ本＋石油ランプ
- (2) ステンドグラス＋柱時計
- (3) オーナメント＋手押しポンプ

・月替わり体験学習 ※毎月第2・4土・日曜日実施

年間利用者数	132人
4月／エッグノート	9人
5月／メッセージカード	11人
6月／ステンドグラス	11人
7月／木のペンスタンド	20人
8月／ぐにやぐにやだこ	3人
9月／開催中止	0人
10月／ハロウインのミニハット	13人
11月／わごむ入れゲーム	13人
12月／ケーキのキャンドル	19人
1月／ラップの芯のペンスタンド	5人
2月／ストロー入れゲーム	8人
3月／ステンシルコースター	20人

・出張体験学習 5団体 266名

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	5 保健体育費	1 保健体育総務費	220433	スポーツ人材強化・育成事業

事務事業名 スポーツ人材強化・育成事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 町内で活動する各種スポーツ団体(少年団、各種競技団体)の構成員並びに指導者に対する適正な指導や研修会等への参加機会を設け、スポーツ活動に関わる人材の育成と町民が参加可能なスポーツ活動の充実を図る。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民及び各種スポーツ活動団体の構成員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) スポーツ活動に携わる人材(競技者、指導者)の育成とそれに係る支援を行い、町のスポーツ活動の充実を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 北海道日本ハムファイターズや北海道十勝スカイアースなど、道内で活動する競技団体との連携関係を結び、それぞれが有する特色を生かしたスポーツや健康、観光などをテーマとする事業を実施する。また、地域おこし協力隊による活動を通じ、少年団や中学校部活動における指導者不足等の課題を抽出し、支援に向けた方策の検討、研修会の開催等を行う。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 町長公約である「一流を見て、聞いて、学ぶ」実現のためのソフト事業を展開する。各種スポーツに親しむ機会、技術や心構えの習得機会、指導者のための研修会などスポーツしやすい環境を継続するため、今後も事業を推進する。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	485,831	402,047	437,000
		一般財源	円	4,830,315	2,994,971	6,815,000
		事業費計(A)	円	5,316,146	3,397,018	7,252,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1011	0.0855	
人件費計(B)		円	802,473	666,025		
		トータルコスト(A+B)	円	6,118,619	4,063,043	
活動指標	研修会、各種教室の実施回数		回	5	10	10
	研修会、各種教室への延べ参加者数		人	841	903	903

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
臨職労働保険個人負担金(保健体育総務費)	円			
スポーツ人材強化・育成事業個人負担金	円			60,000
寄附金管理基金繰入金	円	100,000		
会計年度任用職員労働保険個人負担金(保健体育総務費)	円	385,831	202,047	377,000
スポーツ人材強化・育成事業道補助金	円		200,000	
いきいきふるさと推進事業助成金(保健体育総務費)	円			

事務事業の成果に関する説明

1 プロスポーツ競技団体との連携構築

- (1) 北海道日本ハムファイターズと3年間のパートナー協定を令和元年5月27日に締結
令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった事業が多くあったことから、令和5年3月31日まで期間を延長。
- (2) 北海道十勝スカイアーススポーツと包括的連携協定を平成30年8月23日に締結

2 北海道日本ハムファイターズとの連携事業の実施状況

- (1) スポーツキャラバンinめむろ(令和3年7月9日～11日)
- ① 幼稚園、小学校、柏樹学園等訪問(令和3年7月9日)
ダンス、フロアカーリング等を実施。
参加者数 289名
- ② はじめてみよう! スポーツ教室(令和3年7月10日)
小学1年生～3年生までを対象に野球、サッカー、バスケットボールを実施。
参加者数 26名
- ③ ダンササイズ(令和3年7月10日)
参加者数 20名
- ④ 小学生ダンス教室(令和3年7月10日)
参加者数 27名
- ⑤ おっさんの野球教室(令和3年7月10日)
参加者数 19名
- ⑥ 中学生バスケットボール教室(令和3年7月10日)
参加者数 13名
- ⑦ 小学生サッカー教室(令和3年7月10日)
参加者数 22名
- ⑧ 小学生・中学生野球教室(令和3年7月11日)
参加者数 49名
- ⑨ ゲートボール大会(令和3年7月11日)
参加者数 70名
- ⑩ ゲートボールレクリエーション(令和3年7月11日)
参加者数 13名

3 北海道十勝スカイアーススポーツとの連携事業の実施状況

- (1) サッカースクール(令和3年7月4日)
参加者数 46名
- (2) 藤川孝幸スペシャルサンクスマッチ(令和3年7月31日)
ボールボーイ 15名
芽室サッカー少年団 7名 芽室中学校サッカー部 8名
来場者 309名
- (3) 子どもチャレンジ(令和3年8月2日・6日)
- ① 令和3年8月2日 117名
- ② 令和3年8月6日 66名
- (4) ライフキネティクス講座(令和3年11月17日)
参加者数 16名

4 地域おこし協力隊(スポーツ振興・町民の健康づくり)1名の任用

任 期 平成30年10月1日から令和3年9月30日(最長3年間)

業務内容 町内スポーツ競技団体の指導者発掘やスポーツ活動への指導助言、町民の健康づくりに関する取組みなど、スポーツを通じた魅力あるまちづくり実現に向けた活動を担う。

5 地域おこし協力隊の活動

- (1) スポーツ少年団、子どもセンター等の指導協力
少年団や子どもセンター等が実施するサッカー教室の講師としての派遣協力 17回派遣。
- (2) スポーツ競技団体との連絡・協議
スポーツ関連事業の企画・実施に向けた北海道十勝スカイアース株式会社等との協議。
業務内容 町内スポーツ競技団体の指導者発掘やスポーツ活動への指導助言、町民の健康づくりに関する取組みなど、スポーツを通じた魅力あるまちづくり実現に向けた活動を担う。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	5	保健体育費	2	体育施設費	220424	屋外体育施設維持管理事業

事務事業名 屋外体育施設維持管理事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 芽室公園野球場、芽室公園運動広場(ソフトボール場1面特設)、芽室町南多目的運動広場、アーチェリー場、芽室南公園運動広場、芽室公園庭球場(6面うち1面は壁打ち用)、芽室南公園庭球場(ハード3面、クレー3面)、東工業団地北1公園PG場、芽室南PG場、芽室町サッカー場1面、芽室西運動広場の維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民及び各種スポーツ団体のメンバー等がスポーツ活動を実践することができる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町民の運動志向の高まりとともに、取り組むスポーツも多様化し、より快適で安全な体育施設の設置、維持管理、整備が望まれている。平成30年度には芽室公園野球場の大規模改修工事と平成28年度の台風被害を受けた美生川河川敷PG場の災害復旧工事を行うなど、施設整備事業を実施している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 芽室町営水泳プール建替基本計画と運動し、周辺施設を含む屋外体育施設全体の整備に向けて、施設の現状把握と分析、競技団体との意見交換、財源確保に向けた調査、跡地利用の検討(駐車場、庭球場、運動広場の整備)の方向性を検討する。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	886,465	1,760,720	848,000
		一般財源	円	38,619,944	41,598,221	39,342,000
		事業費計(A)	円	39,506,409	43,358,941	40,190,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2085	0.1955	
人件費計(B)		円	1,654,952	1,522,899		
トータルコスト(A+B)		円	41,161,361	44,881,840		
活動指標	施設数	施設数	11	11	11	
	会場日数	日	183	123	123	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
野球場使用料	円	116,115	65,970	209,000
運動広場使用料	円	156,900	145,300	218,000
庭球場使用料	円	112,150	73,950	138,000
アーチェリー場使用料	円	300	2,000	31,000
サッカー場使用料	円	1,000	6,500	14,000
寄附金管理基金繰入金	円	500,000	1,467,000	238,000

事務事業の成果に関する説明

屋外体育施設の利用状況

1. 芽室公園運動施設

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R3計	R2	R1
町営野球場	22	543	285	981	330		330		2,491	2,919	4,481
芽室公園運動広場		962	730	1,588	830		1,428		5,538	5,263	7,718
芽室公園庭球場	16	108	44	163	120		57	12	520	963	1,285

2. 南公園運動施設

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R3計	R2	R1
南公園運動広場				126	113		60		299	814	1,840
南公園庭球場	9	261	126	520	288		148	33	1,385	2,411	4,343

3. 南多目的運動施設

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R3計	R2	R1
アーチェリー場		28	15	68	45		31		187	297	1,506
ソフトボール場		210	55	230	110				605	905	1,088

4. サッカー場

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R3計	R2	R1
小学生以下				606	747				1,353	3,832	3,102
中学生				346	339	160			845	720	1,443
高校生・一般				116	112	20			248	447	870
計				1,068	1,198	180			2,446	4,999	5,415

5. パークゴルフ場(団体利用の申込み状況)

施設名	R3		R2		R1	
	団体数	利用人数	団体数	利用人数	団体数	利用人数
美生川河川敷	5	516	4	225	—	—
東工業団地北一公園	3	105	4	91	11	396
南	7	2,097	3	331	14	2,352
北	1	20	1	40	8	736
計	16	2,738	12	687	33	3,484

6. 西運動広場(平成29年度より開設)

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R3計	R2
西運動広場	60	499	382	1,192	1,080		328		3,541	1,686

屋外体育施設の維持管理の状況

【修繕等】

- ①町営サッカー場芝生張替修繕 693,000円
 ②町営野球場防球ネット張替修繕 404,800円
 ③屋外グラウンド照明盤改修 99,000円

【備品購入(企業版ふるさと納税)】

- ①町営サッカー場サッカーゴール等購入 1,213,600円
 ジュニア用サッカーゴール2対
 ジュニア用サッカーゴールネット2セット
 スポーツベンチ8脚

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
町営野球場給水管 新設工事	1,452,000				1,452,000	(株)松山工業 R3.4.14~R3.5.21
合計	1,452,000				1,452,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	5 保健体育費	3 総合体育館管理費	220406 総合体育館維持管理事業

事務事業名	総合体育館維持管理事業
-------	-------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 総合体育館(第1・2競技場、トレーニング室、研修室等)の維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ競技団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 経年劣化の改善や耐震性向上のため平成24年度に改修工事を実施し、以降、計画的に施設備品や施設の整備を実施。災害発生時においては、町の避難施設に指定されていることから平成26年度にバイオマス発電設備を設置し、災害時の利用に備え、日常的に運転を継続している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 社会体育施設指定管理者と情報共有を図り、今後も計画的な施設整備、備品整備を行っていく。また、隣接する町営水泳プール建替に係る基本計画を策定する中で、町営水泳プールと総合体育館の連絡方法や利用者の動線、既存のプール施設跡地利用を検討する中で、周辺の屋外体育施設の整備と連動し、総合体育館周辺の将来的な土地利用の方向性を検討する。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			1,400,000
		地方債	円			6,400,000
		その他(使用料等)	円	3,999,878	3,936,331	7,192,000
		一般財源	円	55,294,213	55,897,400	54,127,000
		事業費計(A)	円	59,294,091	59,833,731	69,119,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1574	0.0971	
人件費計(B)		円	1,249,350	756,386		
		トータルコスト(A+B)	円	60,543,441	60,590,117	
活動指標	施設数		施設	1	1	1
	開館日数		日	351	283	283

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
総合体育館使用料	円	3,828,863	3,832,081	5,089,000
総合体育館自動販売機等使用料	円	134,915	103,590	111,000
寄附金管理基金繰入金	円	35,000		
私用電話料(総合体育館管理費)	円	1,100	660	2,000
都市構造再編集中支援事業国庫補助金	円			1,400,000
総合体育館改修工事業債	円			6,400,000
公共施設整備基金繰入金	円			1,990,000

事務事業の成果に関する説明

芽室町総合体育館の利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R1	個人	2,294	1,861	1,922	1,977	1,823	1,670	1,870	2,085	2,217	2,439	2,275	2,830	25,263
	団体	6,358	6,235	5,450	5,211	4,984	5,245	6,146	5,662	5,111	4,183	4,065	1,213	59,863
	計	8,652	8,096	7,372	7,188	6,807	6,915	8,016	7,747	7,328	6,622	6,340	4,043	85,126
R2	個人	1,147	260	2,004	1,697	1,719	1,547	1,841	1,818	1,938	1,583	2,138	2,177	19,869
	団体	1,793	141	3,525	4,327	3,875	4,419	7,162	3,831	3,614	3,404	4,086	4,097	44,274
	計	2,940	401	5,529	6,024	5,594	5,966	9,003	5,649	5,552	4,987	6,224	6,274	64,143
R3	個人	2,010	1,170	471	1,660	1,476		1,610	1,790	2,004	1,863	2,195	2,482	18,731
	団体	4,580	1,619	1,339	4,357	2,794	176	4,824	4,875	5,012	3,248	1,814	3,111	37,749
	計	6,590	2,789	1,810	6,017	4,270	176	6,434	6,665	7,016	5,111	4,009	5,593	56,480

芽室町総合体育館の競技別利用状況

競技名	R1	R2	R3
バドミントン	23,183	18,599	17,005
卓球	5,360	4,626	4,701
テニス	3,065	3,393	2,556
バレーボール	8,779	5,611	4,552
ミニバレー	5,130	6,228	4,357
バスケットボール	1,751	1,343	540
剣道	2,060	1,556	1,683
柔道	2,085	1,065	869
空手	3,045	2,920	2,069
テニポン	3,384	2,782	2,310
トレーニング	15,726	9,543	8,704
研修室	671	286	411
その他	10,887	6,191	4,170
計	85,126	64,143	53,927

芽室町総合体育館教室等の開催(指定管理業務)

講座名	教室数	受講者数	延べ人数
レディース講座	11	34	158
にこにこ	23	115	551
シニアスポーツ	11	52	219
サーキットエクササイズ	6	3	13
らくらく運動教室	29	97	563
スタイリッシュ教室	6	5	20
健康づくり	11	38	138
バランスボールエクササイズ	12	35	83
基礎筋力UP	11	11	35
エアロピクス	4	25	79
シニアるるん	4	15	42
ヨガ	16	58	209
ピラティス	10	38	145
ミドルエイジ	4	14	40
ダンベル	5	10	27
町民体力測定	1	2	2
計	164	552	2,324

芽室町総合体育館の維持管理の状況

【修繕等】

- ①総合体育館屋根修繕 198,000円
 ②総合体育館真空ヒーター制御盤交換修繕 237,600円

【備品購入】

- ①ハンド型マイク等購入 158,400円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
総合体育館 Wi-Fi設置工事	20,680				20,680	(株)曾我 R4.3.7
合計	20,680				20,680	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	5 保健体育費	4 プール管理費	220409 温水プール維持管理事業

事務事業名	温水プール維持管理事業
-------	-------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 温水プールの維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 開館から29年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、平成26年度に施設の改修計画に向けた設計委託業務を実施し、平成27年度に町民からなる検討会議での議論を踏まえ、教育委員会としての施設改修に関する基本方針をまとめた。平成30年度にはこの基本方針を踏まえ、町として施設建替基本構想を策定し、令和4年度に町営水泳プールの建替工事を実施する。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 平成30年度に策定した「町営水泳プール建替基本構想」に基づき、施設の整備方針、規模や建設位置、事業費やそれに伴う財源、事業手法等をまとめた基本方針を策定し、基本構想で方向性を示したDBO方式による施設建替を見据えた要求水準書、募集要項等を作成し、プロポーザル審査委員会を設置し、業者選定を行った令和3年度は、建替えに係る基本・実施設計委託し、令和4年度に町営水泳プールの建替工事を開始、令和5年度に供用開始し、指定管理者による施設の維持管理を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円		37,895,000	569,400,000
		地方債	円		34,100,000	512,500,000
		その他(使用料等)	円	2,574,364	2,840,103	161,084,000
		一般財源	円	50,474,212	59,006,942	53,307,000
		事業費計(A)	円	53,048,576	133,842,045	1,296,291,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1063	0.1479	
人件費計(B)		円	843,748	1,152,106		
		トータルコスト(A+B)	円	53,892,324	134,994,151	
活動指標	施設数	施設		1	1	1
	開館日数	日		285	220	220

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
プール使用料	円	2,413,170	2,696,810	3,682,000
プール自動販売機等使用料	円	160,874	142,633	141,000
私用電話料(プール管理費)	円	320	660	1,000
都市構造再編集集中支援事業国庫補助金(プール管理費)	円		37,895,000	569,400,000
温水プール建設事業債	円		34,100,000	512,500,000
日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金	円			2,956,000
公共施設整備基金繰入金	円			154,304,000

事務事業の成果に関する説明

芽室町温水プールの利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R1	個人	1,797	2,157	2,252	2,540	2,936	1,942	1,766	1,550	1,618	1,481	1,651	-	21,690
	団体	1,219	1,475	3,785	4,045	2,564	3,030	1,382	1,357	1,281	1,796	1,104	-	23,038
	計	3,016	3,632	6,037	6,585	5,500	4,972	3,148	2,907	2,899	3,277	2,755		44,728
R2	個人	720	339	1,380	1,743	2,102	1,371	1,429	1,296	1,604	1,160	1,460	-	14,604
	団体	199		736	1,416	1,210	1,204	1,535	1,042	1,222	1,090	977	-	10,631
	計	919	339	2,116	3,159	3,312	2,575	2,964	2,338	2,826	2,250	2,437		25,235
R3	個人	1,487	770	657	3,016	1,963		1,352	1,126	1,648	1,476	1,472	-	14,967
	団体	1,131	510	696	2,700	1,578		860	1,055	1,264	1,218	785	-	11,797
	計	2,618	1,280	1,353	5,716	3,541		2,212	2,181	2,912	2,694	2,257		26,764

水泳教室等(指定管理業務)の開催状況

対象	実施状況	延べ参加者数
こども	4コース/延べ32教室	2,154人
親子	0コース/延べ0教室	0人
大人(スイミング)	9コース/延べ32教室	1,080人
大人(水中運動)	3コース/延べ12教室	597人
計		3,831人

芽室町営水泳プール(温水プール)の維持管理の状況

【修繕等】

①温水プール天井鉄骨塗装修繕 220,000円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室町温水プール 換気扇更新工事	1,485,000				1,485,000	川田工業(株) R3.10.18~R3.11.18
合計	1,485,000				1,485,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	5 保健体育費	5 健康プラザ管理費	220416 健康プラザ維持管理事業

事務事業名	健康プラザ維持管理事業
-------	-------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 健康プラザ(アリーナ、研修室、資料室等)の維持管理を行う
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけでなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ゲートボールを中心に通年で様々な競技に利用されており、特に冬期間は、ゲートボールやテニス、フットサルだけではなく、野球など屋外競技の練習場として利用実績を持つ。また、平成28年度に日本スポーツ振興センターの助成制度を活用して整備した、アリーナ人工芝の維持管理や長寿命化に努めるとともに、懸案事項となっている天井部分からの管漏への有効な対策を検討する必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 平成28年度に日本スポーツ振興センターの助成制度を活用して整備したアリーナ人工芝の長寿命化を図るため、保護用砂の散布を実施するとともに、天井部分からの管漏への有効な対策を検討し、施設全体の長寿命化に向けた課題の解決を図る。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	1,112,248	787,200	1,386,000
		一般財源	円	11,161,299	12,430,008	11,233,000
		事業費計(A)	円	12,273,547	13,217,208	12,619,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1123	0.1323	
人件費計(B)		円	891,372	1,030,586		
		トータルコスト(A+B)	円	13,164,919	14,247,794	
活動指標	施設数		施設	1	1	1
	開館日数		日	334	291	291

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2020年度	2021年度	2022年度
健康プラザ使用料	円	983,115	654,770	1,263,000
健康プラザ自動販売機等使用料	円	126,243	129,510	120,000
私用電話料(健康プラザ管理費)	円	2,890	2,920	3,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

芽室町健康プラザの利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R1	個人	405	537	165	327	193	273	646	473	500	393	426	1,012	5,350
	団体	2,883	1,346	1,188	1,387	1,644	1,809	2,158	4,045	4,834	3,691	4,382	1,055	30,422
	計	3,288	1,883	1,353	1,714	1,837	2,082	2,804	4,518	5,334	4,084	4,808	2,067	35,772
R2	個人	488	9	152	198	160	349	452	469	580	405	634	687	4,583
	団体	1,271	23	760	617	656	1,062	1,846	3,048	2,708	2,749	3,280	3,044	21,064
	計	1,759	32	912	815	816	1,411	2,298	3,517	3,288	3,154	3,914	3,731	25,647
R3	個人	376	265	46	99	86		358	379	467	618	952	762	4,408
	団体	3,044	748	410	1,507	815		2,193	3,848	3,452	2,348	1,272	2,168	21,805
	計	3,420	1,013	456	1,606	901		2,551	4,227	3,919	2,966	2,224	2,930	26,213

芽室町健康プラザの競技別利用状況

競技名	R1	R2	R3
ゲートボール	12,485	7,900	9,501
サッカー	12,653	8,218	7,789
野球	4,464	4,566	4,542
ソフトボール	447	314	486
テニス	2,951	2,516	1,444
アーチェリー	759	755	607
パークゴルフ	1,110	759	1,262
その他	903	619	582
計	35,772	25,647	26,213

芽室町健康プラザの維持管理の状況

【修繕】

- | | |
|-----------------|---------|
| ①健康プラザ舗装修繕 | 88,000円 |
| ②健康プラザ鍵修繕 | 14,850円 |
| ③健康プラザ芝メンテナンス修繕 | 47,000円 |

建設事業等の説明						(単位:円)
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
健康プラザ 受変電設備アース 取替工事	715,000				715,000	道産商事(株) R3.12.13~R4.1.14
健康プラザ Wi-Fi設置工事	20,680				20,680	(株)曾我 R4.3.7
合計	735,680				735,680	